

審 査 の 結 果 の 要 旨

氏 名 キム ユージン

本論文は、ベトナムを対象国として取り上げ、国際建設事業において頻発する契約コンフリクトとその原因を特定し、契約コンフリクトの文脈的要因間の因果関係を明らかにするとともに、提案した因果関係図を実際の国際建設事業に適用し検証することを目的としている。

分析に用いた一次データは、ベトナムの国際建設事業に直接関わる 32 人の建設事業の専門家に対する詳細なインタビュー調査により得られたものであり、ここには調査期間中実施されていた 9 つの事業が含まれている。インタビューデータの質的分析を行うにあたり、シュトラウスのグラウンデッドセオリーに規定されたオープンコーディングおよび軸脈コーディングの手法を適用した。

その結果、抽出された 123 の概念が 23 のカテゴリーに分類され、さらに 6 つの主要なカテゴリーに括ることが可能なことが示された。また、ベトナムの国際建設事業において頻出する契約コンフリクトとして、用地引き渡しの遅延、価格調整支払の遅延、検査承認の遅延、中間支払の遅延、設計変更承認の遅延、発注者による過度な書類提出要求、資格承認の遅延が特定された。さらに、これらの契約コンフリクトが発生する要因のほとんどが、文脈的要因として整理可能であり、これまでの研究で指摘されたことと重なることが示された。

契約コンフリクトが発生する原因として抽出された文脈的要因は、事業実施国、建設産業、建設専門家、事業マネジメント組織、行政手続き担当者と契約の特徴に分類することが可能であり、これらは他の発展途上国で実施される国際建設事業においても見られる要因である。本研究では、これらの要因の因果関係を詳細に検討することにより、契約コンフリクトが発生する原因関係図を作成することに成功している。さらに、これらの要因の中から 4 つの要因を契約コンフリクトが発生する本質的な原因として特定している。すなわち、契約前の期間における契約条件の明確化が不十分であること、関係者間のコミュニケーションを十分に図らないこと、事業への政治的支援が不十分であること、そして、国際建設事業のマネジメントの経験が不十分であること、である。

次に、作成した契約コンフリクトの原因関係図を検証するために、ベトナム

で実施された 9 つの国際建設事業を対象に、契約コンフリクトが発生するプロセスとこれを防止するプロセスの説明を試みている。本質的な原因として特定された要因のひとつである契約前の期間における契約条件の明確化の不充分さを解決することにより、透明な形態で契約コンフリクトの発生を回避することが可能なことが示されている。一方で、関係者間のコミュニケーションが不十分であること、および事業への政治的支援が欠けていることに対する解決策のアプローチは、承認遅延などの契約コンフリクトの問題解決には有効であるが、透明性に欠けることを指摘している。さらに、発注者組織における国際建設事業のマネジメントの経験が不十分であるという要因は、契約コンフリクトの発生に対して、比較的弱い原因であることを示している。

本研究は、国際建設事業のマネジメントの分野において取り上げられることの多い契約コンフリクトの問題に対して、全ての事業関係者からの視点と事業特有の文脈的要因を考慮し、その発生要因を多次元的に整理し、原因の本質を特定することに成功しており、これらの関係は、対象としたベトナムだけでなく、他の発展途上国にも一般的に適用できる関係図として発展が期待できる。建設マネジメント分野における学術的貢献は大きいものと評価できる。

また、政府開発援助事業で用いられることの多い FIDIC 契約に基づく国際建設事業において、契約前に実施する契約条件の明確化の実施手順と契約条件書の改善方策を提言している。これらは、契約コンフリクトの発生を防止するために有効な方策であると考えられ、実務的貢献も認められる。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。